

### モンゴル国にて「日本伝統手打ちそば祭り」を開催 !!



開会式典(テープカット)

本年は、我が国とモンゴル国が国交を樹立して45周年を迎えました。これを記念して、一般社団法人 全麺協では日本伝統の手打ちそばを同国に普及させて健康増進に貢献すると共に、両国の親善友好を民間レベルから高めるため、平成29年度の重点施策としてこの事業を次の通り実施しました。関係者の尽力とモンゴル国の温かい受け入れによって、当事業は大きな成果を挙げることが出来ました。詳細な報告は後日行うこととして、概要を「速報」として皆様にご報告します。(報告者:企画渉外部会長 廣澤幸雄)

1. 日 時 : 平成29年10月7日(土) ~ 8日(日)
2. 場 所 : モンゴル国ウランバートル市 アササーカスクローネレストラン
3. 日本からの参加者 : 一般社団法人 全麺協 個人会員 39名 (任意参加)
4. 結 果 :

10月7日はモンゴル国政府要人、国会議員、在モンゴル日本大使館特命全権大使等を招待して「歓迎会」が開催されました。最初に、主催者である元横綱の朝青龍および全麺協理事長 中谷信一による開会式でのあいさつが行われました。引き続き、招待者約200名に対して、全麺協名誉師範 鵜飼良平氏と全麺協の女性4名による、揃い打ちによる手打ちそば披露すると見学者からは称賛の声が聞かれました。そばはその場でゆがいて、食べていただきました。



鵜飼名誉師範による  
そば打ち披露

10月8日はモンゴル国の一般市民に呼びかけて、手打ちそばの実演を板倉敏和氏が解説を交えてそば打ちを披露しました。このそばも、すぐにゆがいて来場した1200人の人々に提供しました。モンゴル国の日常食は「肉食料理」が多いために食味が合うのか、また、箸での食事ができるのかなど幾つかの不安がありました。しかし、これらの不安は払拭されて人々から『大変美味しい!』と称賛の声が寄せられて大好評でした。またモンゴル国政府の関係者から、今回の全麺協による「日本伝統手打ちそば祭り」の事業は、今まで開催された国交樹立45周年記念事業の中で最も充実した内容であるとの高い評価をいただきました。

当事業の終了後に、朝青龍による盛大な「慰労パーティ」を開いていただきました。朝青龍から、「そば食」を取り入れることによってモンゴル国民の食生活が大いに改善されて、今回の全麺協による「日本伝統手打ちそば祭り」の開催は、国民の平均寿命68歳を大幅に延伸させることに寄与する良い契機になるであろうとのねぎらいとお礼の言葉をいただきました。



# モンゴル国での「日本伝統手打ちそば祭り」スナップ写真



そばを食する朝青龍



そば打ち披露



朝青龍を囲んで



参加者全員で記念撮影